

「富山大学名誉教授の会」平成25年度総会議事録

日 時 平成25年6月28日(金)
13:30~20:00

総会に先立って、高岡キャンパスの施設見学会を行った。

施設見学会 13:30~14:30

見学場所 高岡キャンパス 金工室、木工室、漆工室、彫塑室、絵画室
等工芸実習室
参加者 26名
案内・説明 武山芸術文化学部長、竹内総務グループ長、池田総務グループ主幹

総 会 15:00~16:30

会 場 「ホテルニューオータニ高岡」4階 鳳凰の間 東
高岡市新横町1番地

出席者(出席者一覧参照)

会員:41名(他に委任状提出 119名)

大学:6名(遠藤学長、山口理事・副学長、総務グループ4名)

配付資料

- 資料1 平成24年度富山大学の事業概要
- 資料2 平成24年度総会議事録、幹事会メモ
- 資料3 平成24年度 富山大学名誉教授の会収支決算書
- 資料4 監査報告書
- 資料5 受章者、物故者、会員近況
- 資料6 会費改定(案)
- 資料7 「富山大学名誉教授の会」会則改正(案)
- 資料8 会員名簿
- 資料9 平成25年度富山大学名誉教授の会予算書(案)
- 資料10 富山大学名誉教授の会役員名簿(案)
- 資料11 会員からの提案等について
 - ・ 総会出席者名簿(称号授与年度順)
 - ・ 富山大学基金便り(第1号 2013.4.1 発行)
 - ・ 富山地域高等教育機関在籍外国人留学生数(2013.5.1 現在)

次 第(司会は会長)

- ・ 開会の挨拶 会長
- ・ 学長ご挨拶
- ・ 議 事

(1) 平成24年度富山大学の事業概要について

- ・資料1により、遠藤学長から、富山大学基金の創設等のトピックス、主な施設整備事業の概要について報告があった。続いて、山口理事・副学長から平成25年度入学者選抜試験実施状況、平成24年度卒業者の進路状況の概要について説明があった。

(2) 平成24年度行事報告

- ・資料2に基づき、会長から、平成24年度総会（H.24.6.30開催）議事録、幹事会（第1回H.24.6.30、第2回H.24.10.26、第3回H.25.2.22開催）の概要について報告があった。
- ・この中で、幹事会では、総会議案、幹事の交代、会の収支均衡策、会員からの提案・要望への対応、訃報時の弔電・献花等の取扱い等についてについて協議したこと、また、名誉教授の会発足依頼検討してきた、ボランティア講義については、会からの提案と大学側の体制との一致が得られず、取りやめることとしたこと、等の報告があった。

(3) 平成24年度会計報告

- ・事務局から、資料3平成24年度富山大学名誉教授の会収支決算書（案）について、報告があった。

(4) 平成24年度監査報告

- ・竹越監事から、資料4に基づき、「平成24年度の富山大学名誉教授の会収支決算及び付属明細書」は適正である、との報告があった。

○上記(3)に関して、出席会員から決算書の収入の部の合計金額(1,143,243円)と、下段に記載の収入額(1,143,232円)が一致していない、との指摘があった。これについては、総会後事務局でチェックし、総会議事録の中で修正することとした。

⇒ 後日、事務局でチェックした結果、以下の誤認が判明した。

- ・1.上記の金額が合わなかった11円については、4月1日に入った利子であった。
- ・2. さらに平成24年度当初の繰越金額が通帳の見間違い(1段ずれ)により誤っていた。

そのため、以下のように修正することとした。

- ・1.平成24年度収入の部の利子については、95円を84円に修正する。
- ・2.平成24年度当初の繰越金額を455,028円から446,988円に修正する。

これらの修正を反映した資料3「平成24年度富山大学名誉教授の会収支決算書」、並びに資料9「平成25年度富山大学名誉教授の会予算書」を別途同封することとした。(監事の了解済み)

(5) 会員の動静について

- ・資料5により、受章者3名、物故者4名の報告があった。
- ・物故者氏名の報告後、出席者一同起立して、物故者に対して1分間の黙とうを捧げた。
- ・会員の近況については、総会報告書に掲載を承諾された方のみを記載する。

(6) 会費の改定について

- ・幹事会での議論、及び資料6に基づき、会長から会費の改定理由が説明され、現在1,000円の年会費を2,000円に改定することが承認された。
- ・会費改定が承認されたので、後日平成25年度以降の会費納入を依頼することになる。
- ・既に複数年納入されている場合は、残り年数の1/2（少数点以下は切り上げ）の年数を既納入されていることとする。

(7) 会則の改正について

- ・会費の改定により、会則11条の「1,000円」を「2,000円」とすること、及び4条に(5)会計1名（事務局）を加える、とする改正案が承認された。

(8) 富山大学名誉教授の会入会状況について

- ・資料8により、会員数は、新入会員17名を含めて、総計214名（昨年度の総会開催時点での会員数は、204名）であるとの報告があった。

(9) 平成25年度予算案について

- ・資料9により平成25年度収支予算案が示され、承認された。なお、支出の総会費には講師、見学案内者、事務方の懇親会招待費を含むこと、また、幹事会費の支出には弁当代費用（これまでは出席幹事が負担）を含む、との説明があった。（正式な予算書は、同封の修正案による）

(10) 役員承認について

- ・資料10 役員名簿（案）に基づき、理学部から對馬勝利氏（高木光司郎氏の後任）、芸術文化学部から林哲三氏（谷口義人氏の後任）が新役員（幹事）となる、副会長林暢夫氏を除く他の役員はすべて再任・留任となる、という幹事会からの推薦案が承認された。H.24.10.26に渡邊祐司幹事と交代した服部征雄幹事も再任となる。
- ・なお、副会長林暢夫氏の後任について、総会席上で高岡地区幹事から、滝沢浩氏の推薦があり、滝沢浩氏の副会長就任が了承された。

(11) 平成25年度行事について

○幹事会開催

- ・本日の総会に先立って、6月21日（金）に25年度第1回目の幹事会を開催し、本日の総会への提案内容を確認したこと、次回幹事会は9月、又は10月に開催すること、の報告があった。

○会員からの提案等について

- ・資料11の会員からの提案等が紹介され、次回幹事会でこれら提案に対する検討を行うとの報告があった。

- ・なお、会長から、今後、会員からの提案については、具体的に活動している事業やサークルに、会員の参加を呼びかけるような内容としたい、との意向が示された。
 - ・例えば、関西支部（他）の設置については、先ず同好会的に活動してもらい、その上で、支部設立を検討する、等。
- 総会での発言ではないが、以下のような意見もあった。
- ・ホームページの作成
 - ・名誉教授の会会員による講演会

(12) その他

○富山大学基金について

- ・会長から、「富山大学基金」に協力することは、名誉教授の会の目的の1つ、「富山大学の教育・研究・国際化の充実と発展に協力し、地域の活性化等に寄与する。」ことに貢献することになると考えられるので、会員に協力と呼び掛けたい、との意向が示された。

講演会（4階 鳳凰の間 東） 16:30～17:30

- ・演 題：『高岡芸術文化都市構想 一大学が果たすべき役割一』
- ・講 師：富山大学芸術文化学部
学部長 武山良三 教授

- ・講演概要：少子高齢社会など益々厳しくなる社会状況の中にあって、国立大学にはより一層の地域社会への貢献が求められています。富山大学芸術文化学部では、前身である高岡短期大学の時代から地域と連携した教育・研究を個性として、さまざまな地域連携プロジェクトを実施して参りました。講演では、これまでの実績を振り返ると共に、現在推進している創造的な人材と地域づくりを目指す「高岡芸術文化都市構想」についてご紹介します。

写真撮影（4階 鳳凰の間 東） 17:30～18:00

- ・講演会終了後、出席者全員の集合写真を撮影した。

懇親会（4階 瑞竜の間） 18:00～20:00

司会は森幹事、出席者は全体で37名

- ・開会の挨拶 名誉教授の会幹事 宮下尚名誉教授
- ・乾杯のご発声 遠藤俊郎学長
- ・途中ご挨拶 大井信一元富山大学長、各名誉教授
- ・中締めのご挨拶 名誉教授の会前幹事 高木光司郎名誉教授

以上

お知らせ

- 総会の概要が、大学のホームページに上掲されていますので、ご覧下さい。